

季節の フラワー エッセンス

第5回 「love love love」

季節は足早に秋から冬へと移り、冷たい風が身にしみるようになりました。秋から冬にかけては、人恋しさが募るせいか、多くのカップルが生まれるそうです。特にこれからの時季は、クリスマスやバレンタインデーなどのイベントも続きます。

そこで、今回は「愛」をテーマにしたフラワーエッセンスをご紹介します。ただし、その「愛」は「恋愛」に限らず、もっと広い意味でとらえてみたいと思います。

S-20 マグノリア

ハートに関連するエッセンスで、心を開いて無条件の愛を受け入れることを助けます。マグノリアはモクレン科モクレン属の落葉高木。日本に自生するコブシとシデコブシの交配種で、“レオナルド・メッセル”という園芸品種から作られています。マグノリアの花言葉は「華麗」、「壮大」、「高い精神」、「情深いこと」、「自然の愛」など。ピンク色の花はハートを象徴し、その淡い色合いは高い精神性をあらわしています。実際にマグノリアのエッセンスを使った方からは、「優しい感じに包まれている感覚がある」とか、

「実際に優しい言葉をかけてもらうことが増えた」という体験談もいただいています。マグノリア



東 昭史 (あずま あきひと)

アロマテラピー業界での勤務を通じてフラワーエッセンスに出会う。大槻真一郎氏に師事。植物の特徴表示をテーマに、フラワーエッセンスを研究。各地でフラワーエッセンス講座を開講し、個人セッションを行う。2007年4月、著書『花と錬金術』出版。2008年11月東京有楽町阪急百貨店にてフラワーエッセンスセミナーを開催。

は、愛に身をゆだねることについて、教えてくれるエッセンスです。

S-29 セイクレッド・ロータス

精神の成長を促し、まわりに愛を与えていくことができるように助けてくれます。セイクレッド・ロータスは、私たちにもなじみ深いハス（蓮）のエッセンスです。古代インドでは、ハスは母性を象徴していました。多産、力、生命の創造力などをあらわし、さらには神聖や不死のシンボルになっていたと言います。英名にあるセイクレッド Sacred も「神聖な」という意味ですが、このエッセンスはまさに神聖なる存在に目を向けさせてくれるものです。それは大いなる愛の源であり、私たちを育ててくれる存在です。私たちはその愛に気づくことによって精神的に成長するとともに、受けとっている愛を自分だけのものにせず、与えることができるようになるでしょう。セイクレッド・ロータスのエッセンスの体験談には、「胸の奥からあたたかさが広がって、優しさがこみ上げてきた」という話もあります。セイクレッド・ロータスは、大いなる愛に対して心を開くエッセンスです。



photos by Akihito Azuma